

躰

殿様、寝屋の

Jewelrybox

玉姫なお

〜暗殺失敗、
奥方にされたく〜



成人指定

FOR ADULT ONLY

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体・組織
企業等とは一切関係ありません。

時は戦国
群雄割拠
ひしめく世

領地を接する
二人の武将が

腹を探り合う
罅^{つば}迫り合いの会談を
繰り広げていた

いえいえ
それがし
某もまだまだ若輩者
内添殿には敵いませぬ

いやはや
東禅寺殿のご活躍
聞き及んで
おりますぞ
なかでも
気更^{きさら}来城^{らいじょう}攻めは
見事だったとか

とうぜんじよしまさ
東禅寺 義政

うちぞえ じょうあん
内添 紹庵

例えば僕の娘
吉姫など…

ところで
東禅寺殿は
妙齢だが
独り身
そろそろ
妻を娶っては
いかがかの



眉はきりりと
目はぱっちり
黒髪は長く艶やか
唇はぽってり厚く
吸い甲斐があると尚良し
胸は大きく尻は安産型
肌は白くすべやかで
それよりなにより



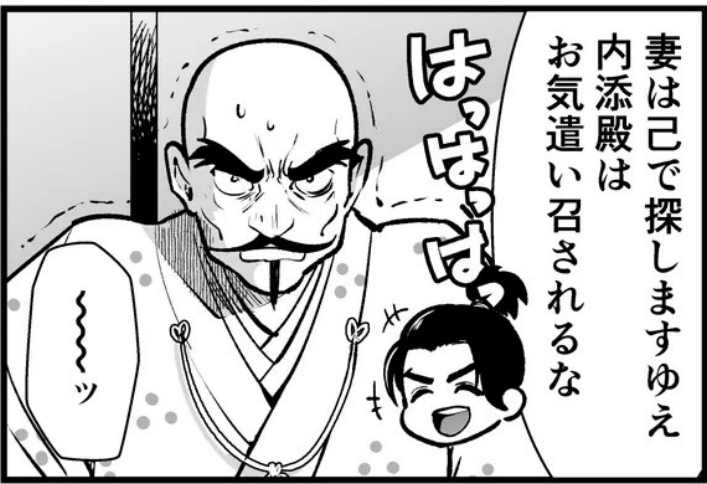
生憎某女子おなごの
好みにはうるそう
ございましてな



勝気な美人が
好きでして




東禅寺の若造め
こちらと手を組む
つもりはないと
いうことかッ!!
何たる無礼者!!




妻は己で探しますゆえ
内添殿は
お気遣い召されるな

はっはっは



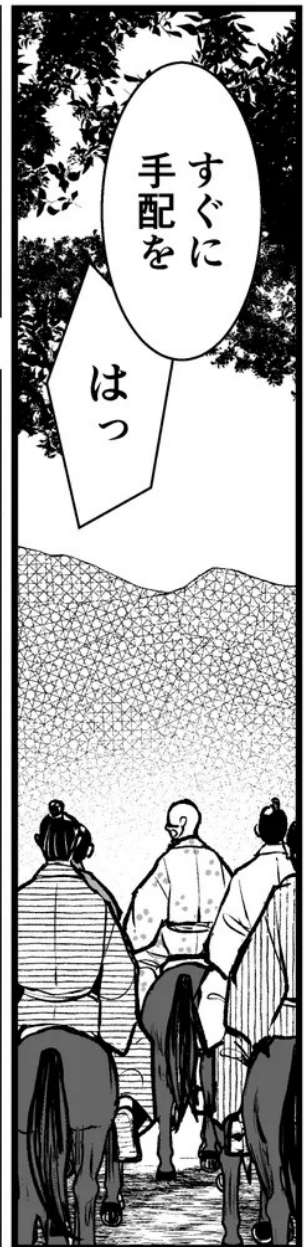
かくなる上は
こちらにも
考えがある

あやつ好みの女
差し向けて
やろうではないか



すぐに
手配を

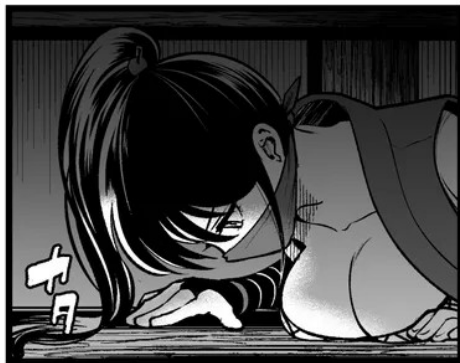
はっ



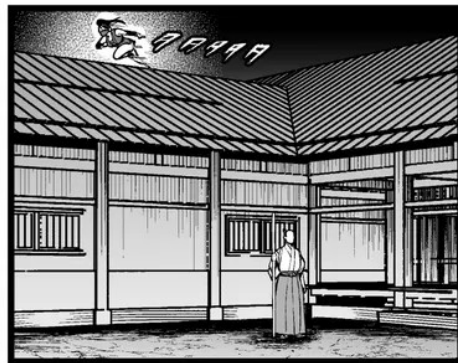


ここが
東禅寺屋敷：

いいか
今回の任務は
当主・義政暗殺



十月



この任務には
内添家の命運が
かかっておる

相手は名を
挙げている武将
ゆめゆめ
努々油断するで
ないぞ



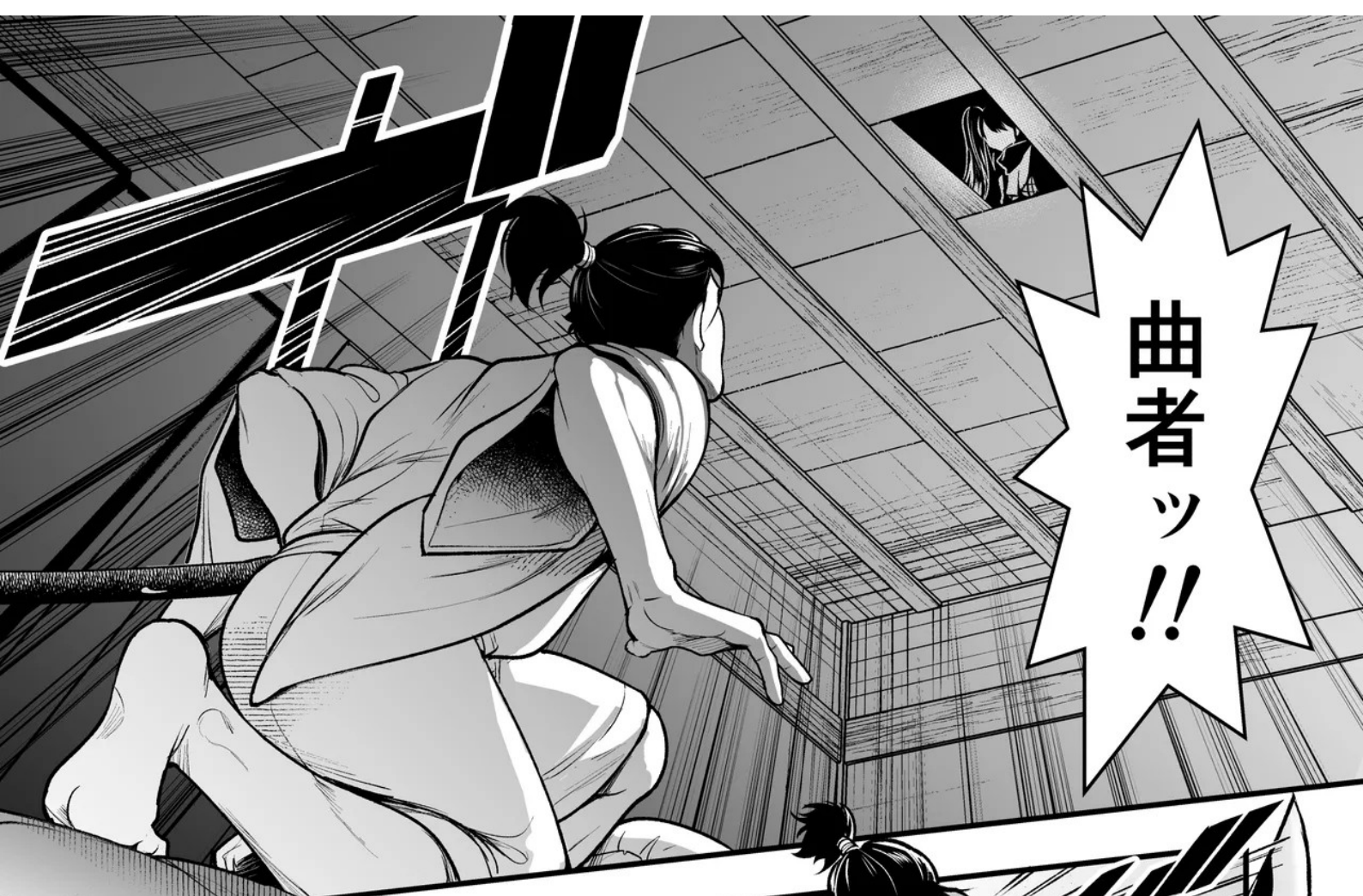
この部屋で
間違いない



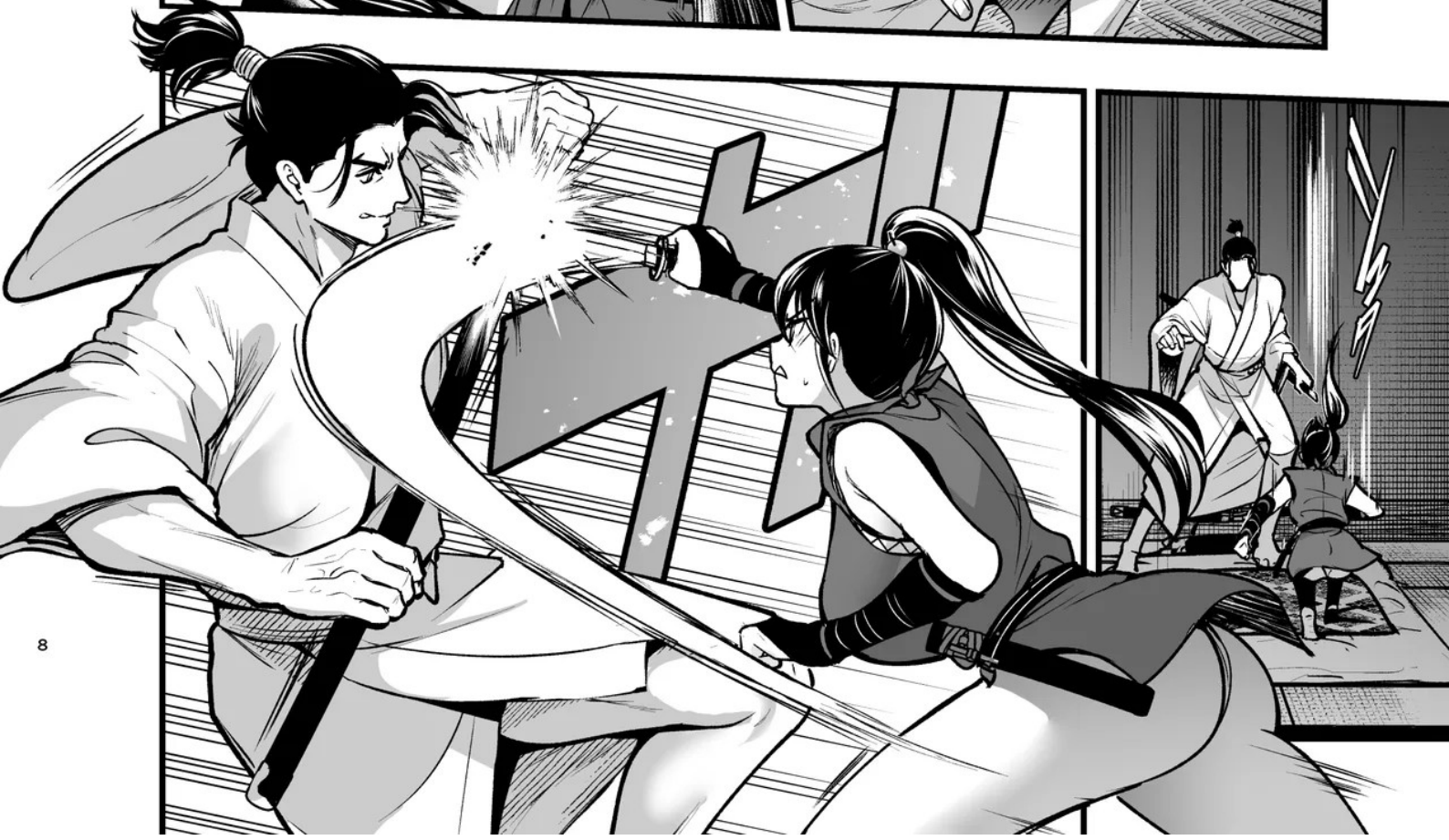
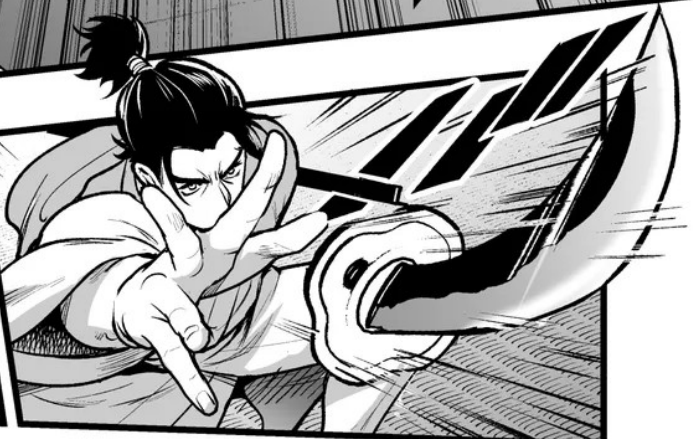


確実に
仕留める...!!

何ッ!?



曲者ッ!!



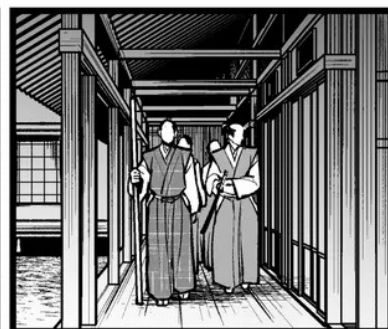


なんとも
可愛らしい子鼠
ではないか



どんな
不届き者かと
見てみれば

……ッ

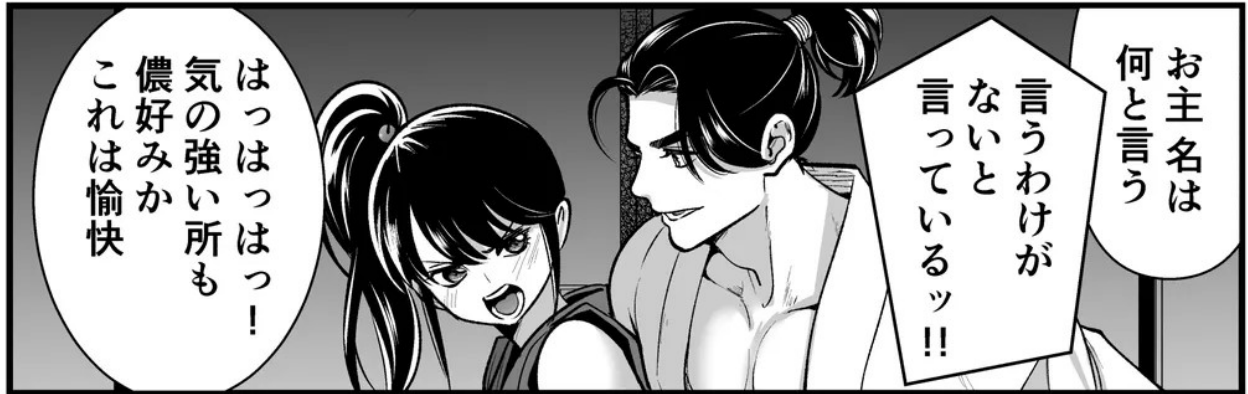




しかし
その容姿

最近答えた
儂好みの女に
ぴったりと
当てはまる

なんとも
不思議なもの
だのう



お主名は
何と言う

言うわけが
ないと
言っているツ!!

はっはっはっ!
気の強い所も
儂好みか
これは愉快



して茜お主
儂を殺しに
来たのじゃろう?
その身どうして
くれようなあ



名乗れぬなら
儂が名を授けよう

そうじゃなあ
燃えるような
その目つき…
茜と呼ぼうか

何を
勝手に!!

嫌なら名を
名乗れば
よからうて

……ツ





…威勢がいいな
益々気に入ったぞ



辱めたいのなら
やってみればいい

お前の粗末な一物に
屈したりはしないがな



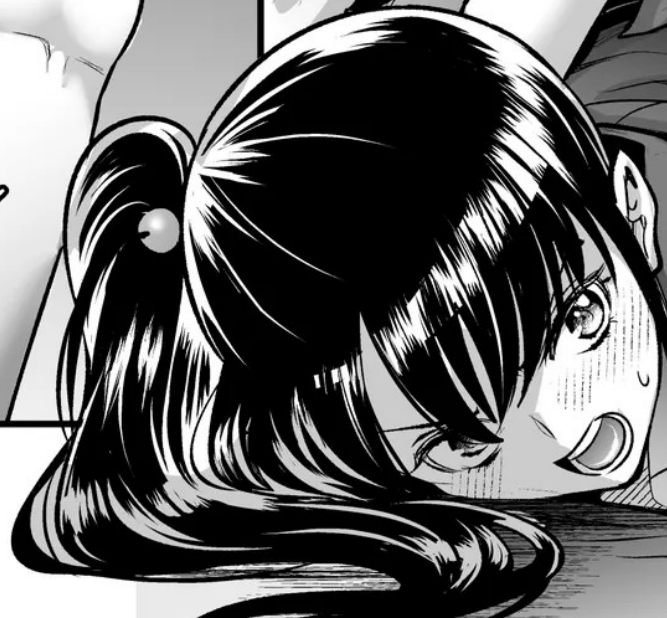
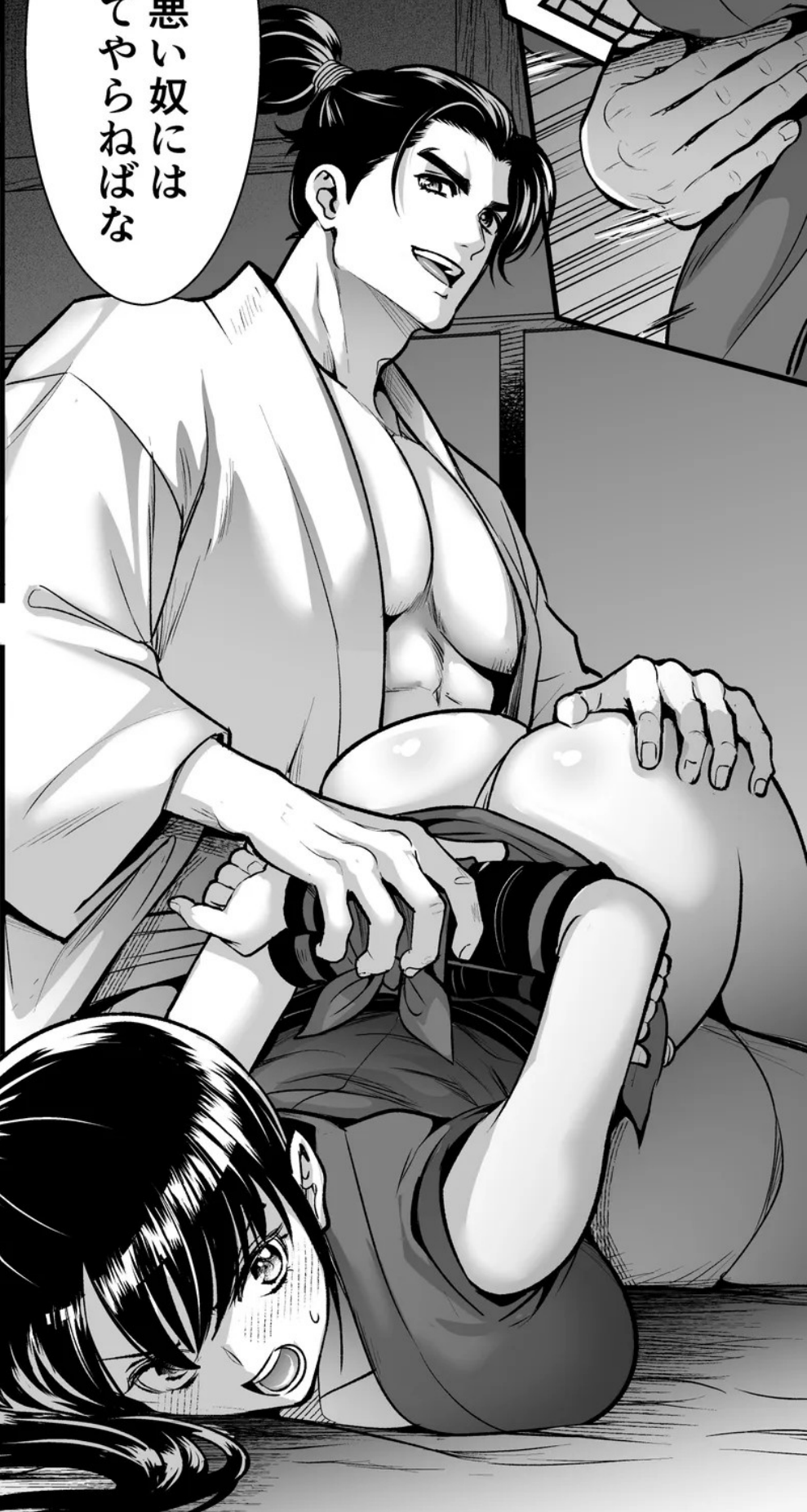
しかし
侮辱されては
俺も腹に据えかねる

まず
手始めに…



こいつ…
何を!?

行儀の悪い奴には
躑をしてやらねばな







ちと
静かにせい



もう一度
叩いてほしい
ようじゃの



尻は本来
叩くのではなく
愛でるもの

大人しゅう
していれば
儂もこんなこと
せんのだぞ



お主も痛いのは
嫌じゃろう？

まずは
儂を襲ったことを
謝ったらどうじゃ

私は主命に
従ったまで！
謝りなどせぬ！！

…そうか



~~~~~  
ツ

尻たぶが  
ジンジンと  
熱い

拷問より  
マシなはずなのに  
情けなくて  
涙が出てくる

あ



何だ  
泣いておるのか？

泣いてなんか  
ない！！

ふふっ  
痛いじゃろうて  
強がらなくて  
よいのだぞ？

少し  
可愛がって  
やらねばの



叩かれて敏感に  
なっている所を  
優しく触れられると

変な  
感覚が……

あーん

あち

あーん  
あーん  
あーん





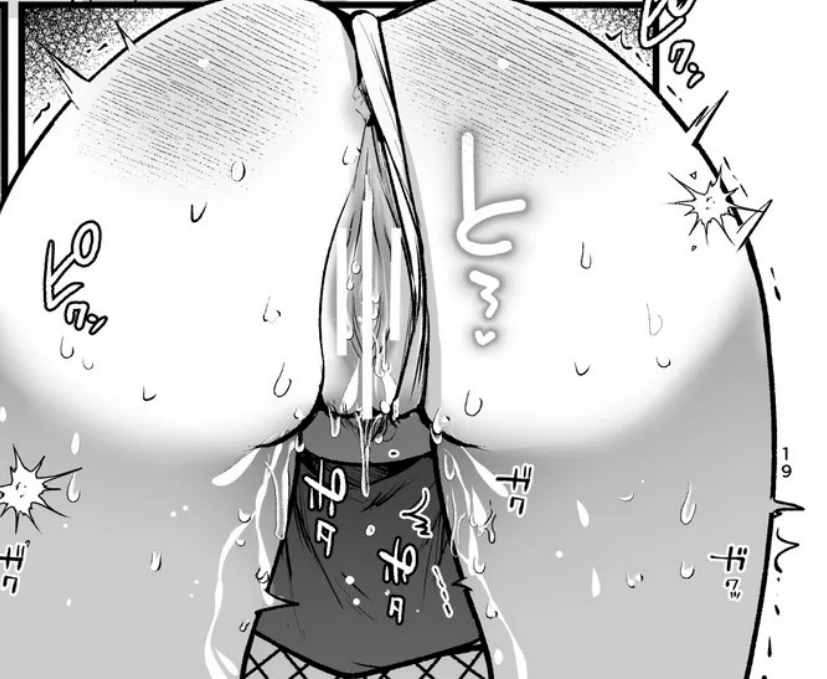
触り方も  
巧みで



このままじゃ  
私…



見事見事！  
よい潮吹きじゃ

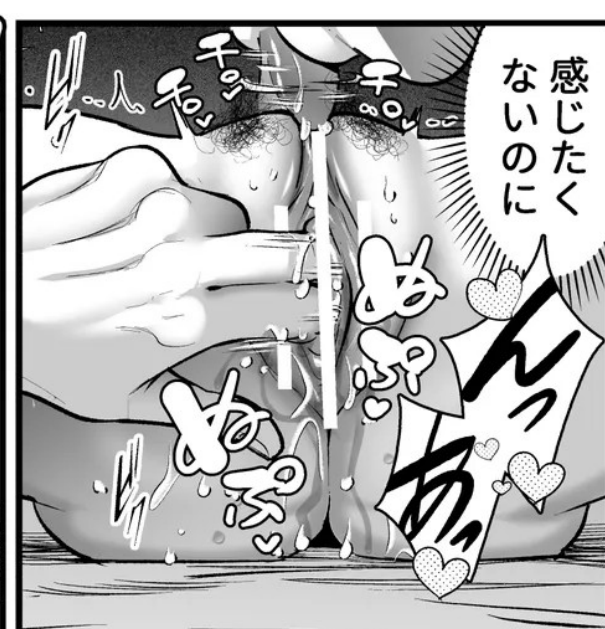
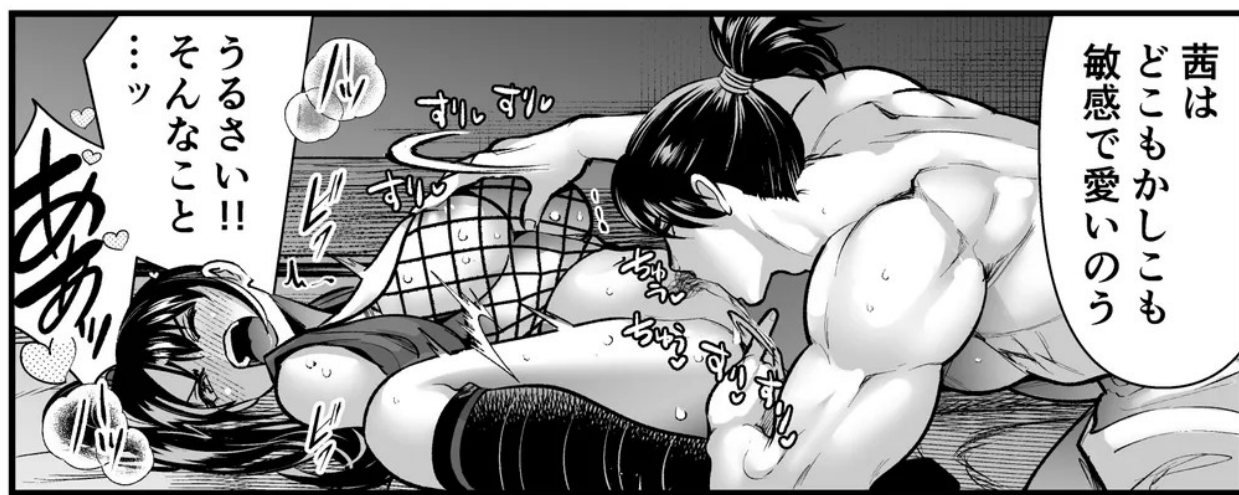
















堪らなく  
なってきたわ



茜お前はまこと  
可愛い女じゃのう



儂も  
そろそろ



何を驚いておる  
お主が粗末と言った  
一物じゃぞ



なんだ  
あれは…

大きすぎじゃ  
ないか!?!

大したこと  
あるまい？

……  
ッ

まさかこれを  
挿入する  
つもりか…!?

邪魔な衣服は  
脱がして

ふむ  
よからう

無理だ  
入らない

止めろ  
馬鹿野郎!!

くそっ身体が  
震えてくる

しかしこれこそ  
待ち望んでいた好機

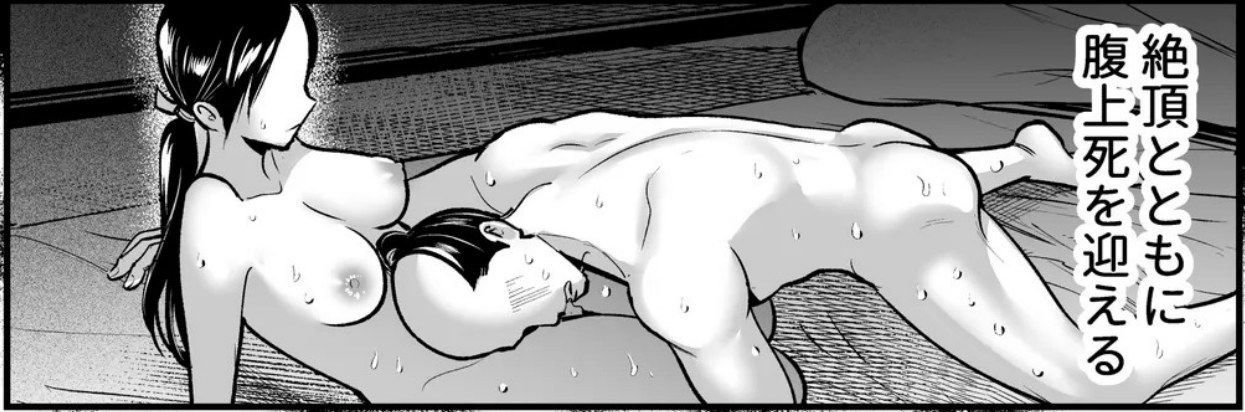


我等を抱いたものは  
毒を含んだのと同じ



我が里のくノ二は  
幼い頃から  
特殊な薬を飲み

その身に  
毒を溜めていく



絶頂とともに  
腹上死を迎える



そう怖い顔で  
睨むな

僕がお主を  
極楽に導いて  
やるぞ



恐れるな  
これで任務は  
全う出来るんだ

どんな巨根だつて  
受け入れてみせる



少し力を抜いて  
お主の膣内<sup>ナカ</sup>に  
挿入<sup>ハ</sup>っていく儂を  
見ておれ



一体どこまで  
奥に挿入<sup>ハ</sup>ってくる  
つもり…



胎<sup>マダ</sup>の中を  
押し広げられていく

息がうまく  
出来ない…ッ







コイツはさつき散々  
私の愛液をすすって  
既に毒がまわっているはず

もう少し  
私の膣内<sup>ナカ</sup>に  
入って  
いけば



ほう

今度は  
茜が上になるか



確実に死ぬ

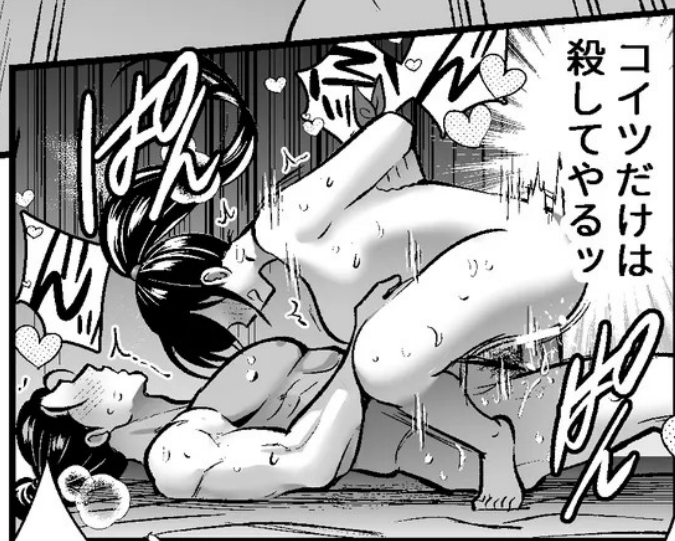




殺すツ

殺すツ

イかせて  
殺すツ!!



コイツだけは  
殺してやるツ

意識が  
飛びそうになっても

胎の奥が  
男根で潰されて

早くイって  
死ねツツ!!





これはこれは  
凄まじい腰使い  
最高じゃ…

儂も少し  
動いてよいか？

ダメだッ!!

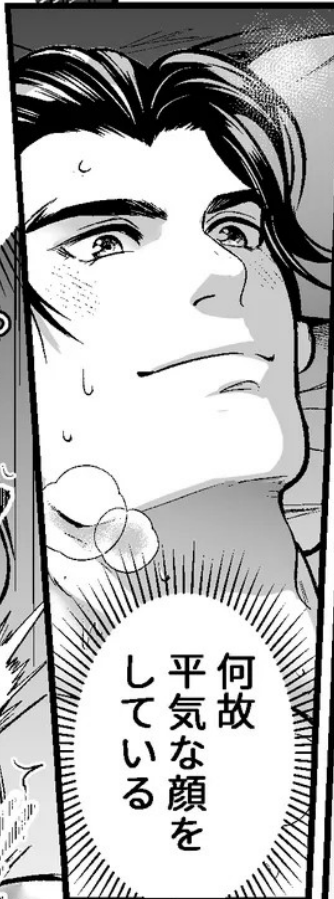
そうか  
ではこのまま



…おかし



このままでは  
私の方が先に  
イって…



何故  
平気な顔を  
している



そろそろ  
毒が効いても  
いい頃なのに



のう茜  
知っておるか？

搾り取られ  
そうなくらい  
膣内<sup>ナカ</sup>がうねって  
気持ちよい



お主が  
どこの手の者か  
知らぬが  
一つ  
いいことを  
教えてやろう



特に隣国の  
内添の忍びは  
それが得意と  
するとか



くノ一の中には  
己が身を毒とし  
男を手にかける  
者がいるという



毒もよく  
盛られたものよ



我が東禅寺家は  
家督争いが  
激しくての



おかげで  
今はこの通り

生き抜くために  
爺には  
色んな薬を  
飲まされての



儂も幼い頃より  
兄弟から命を  
狙われ続けた



大抵の毒は  
効かぬ体になった

な



私はただ…

自ら腰を振って  
まぐ合っていた  
だけ…!?



こらこら  
逃げるでない

落ち着いて  
よく考えろ



お主に  
このようなことを  
させる主人の元に  
戻るのか?

毒だの暗殺だの  
儂はもう  
こりごりじゃ



つまり私の  
やっていることは…

無駄…!?

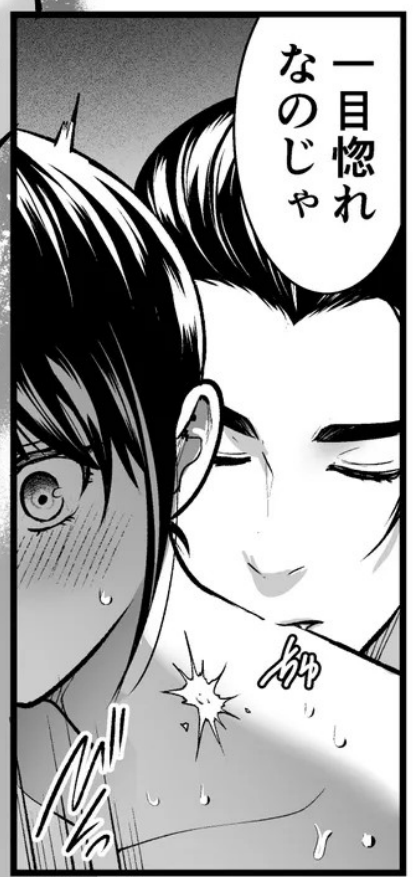


逃げずに  
僕の妻に  
なっ  
てくれ



僕の元にいれば  
お主を戦の道具に  
などせぬ

普通の女として  
大切に愛でる



一目惚れ  
なのじゃ



違…ッ

あああ

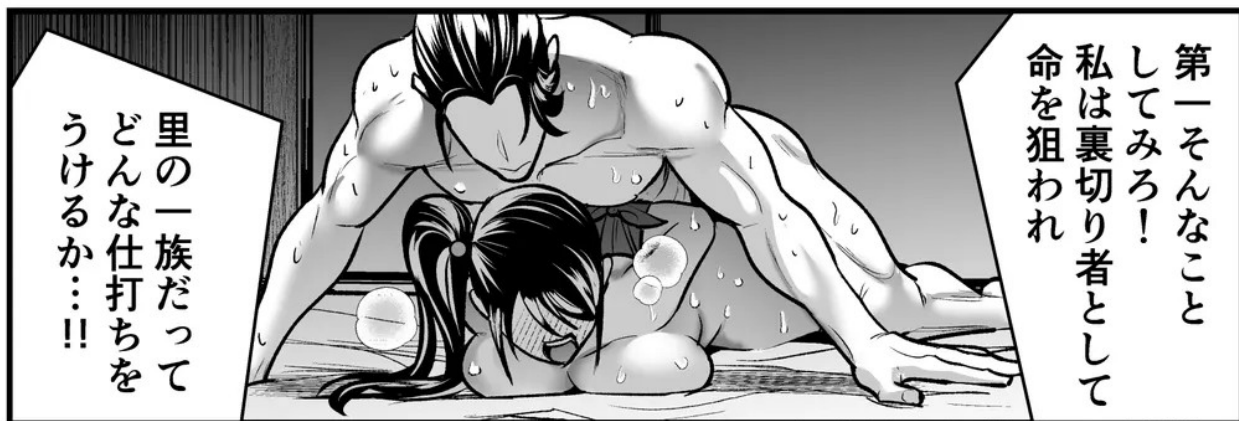
それに内心嬉しかろう？  
茜の膣内<sup>ナカ</sup>が  
きゅうつと締まったぞ



バツ

馬鹿な  
ことを!!

馬鹿なこと  
ではない  
俺は本気じゃ



第一そんなこと  
してみろ！  
私は裏切り者として  
命を狙われ

里の一族だって  
どんな仕打ちを  
うけるか…!!



必要ならば  
お主が住む国ごと全部  
俺が貰い受ける

……



その点は  
安心していい

お主も  
お主が大事なものも  
俺が全て守る



決めたことは  
必ず成し遂げる



呆気に  
とられるほどの  
大口だが

言葉に自信が  
溢れている



コイツはきつと  
そいう男なんだ



たぶん  
今まで会った中で  
一番…

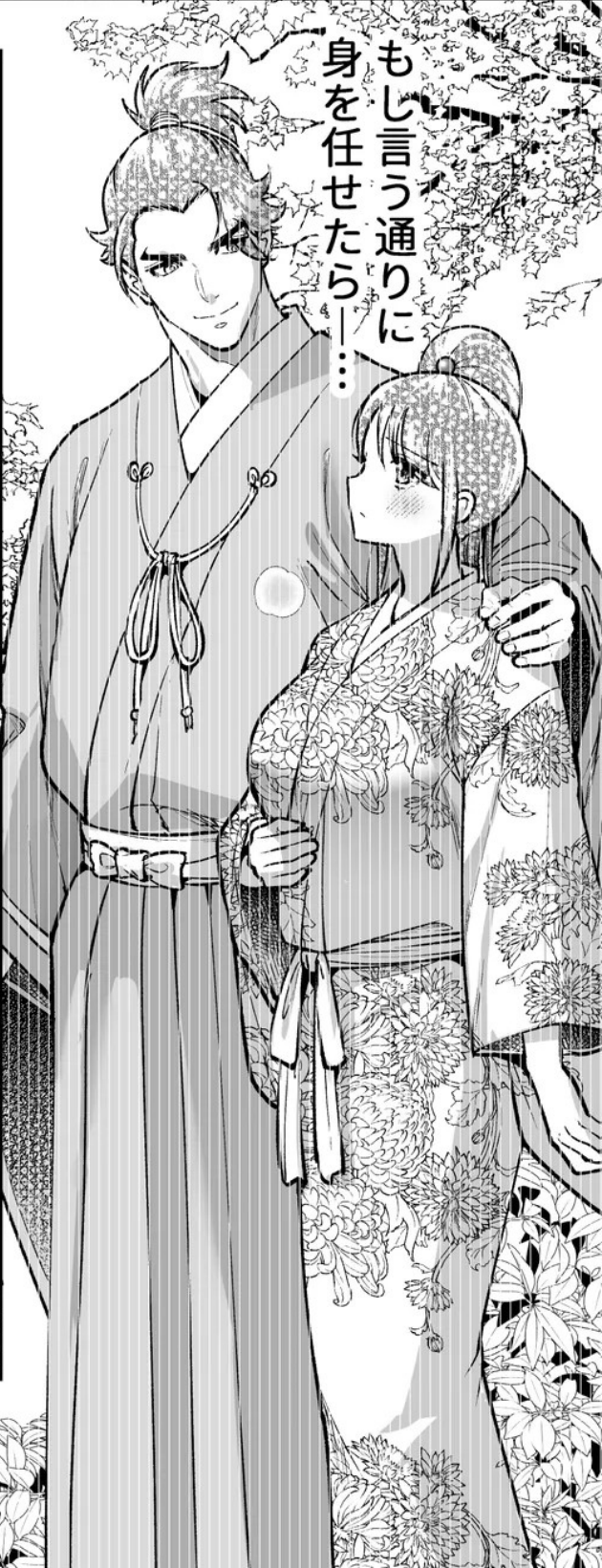
この男は  
強い

…本能で  
感じる



また締まったぞ  
これは脈ありと  
いうことでよいか？

よっ  
よっ  
よくない!!



もし言う通りに  
身を任せたら…



…おい



私の使命は  
この男を殺すこと…

甘い言葉に  
惑わされるな







戦国の世で  
私たちは敵同士



只の男と女では  
いられない



息の根を  
止める

次の一撃で



それは  
いかんぞ茜

むつみ合いに  
暗器は無用

そろそろ  
儂を殺すのは  
諦めたらどうじゃ

悪いようにはせぬ  
少しは本気で  
儂とのかを  
考えてくれ

そんなこと  
出来るわけ  
ないッ!!

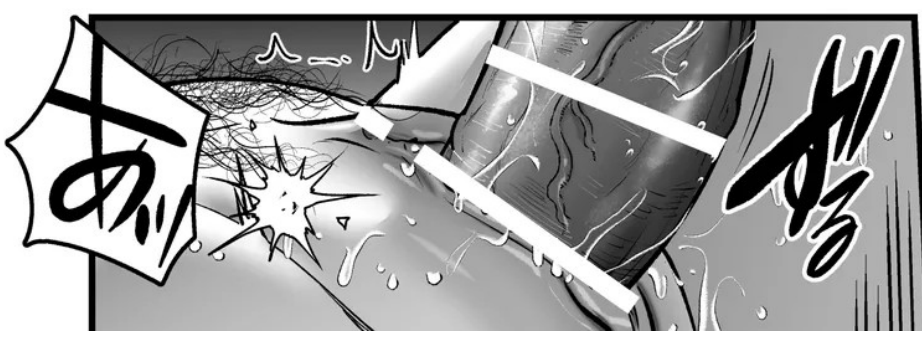
…そうか  
であれば



くそっ!!

放せ  
放せよ!!

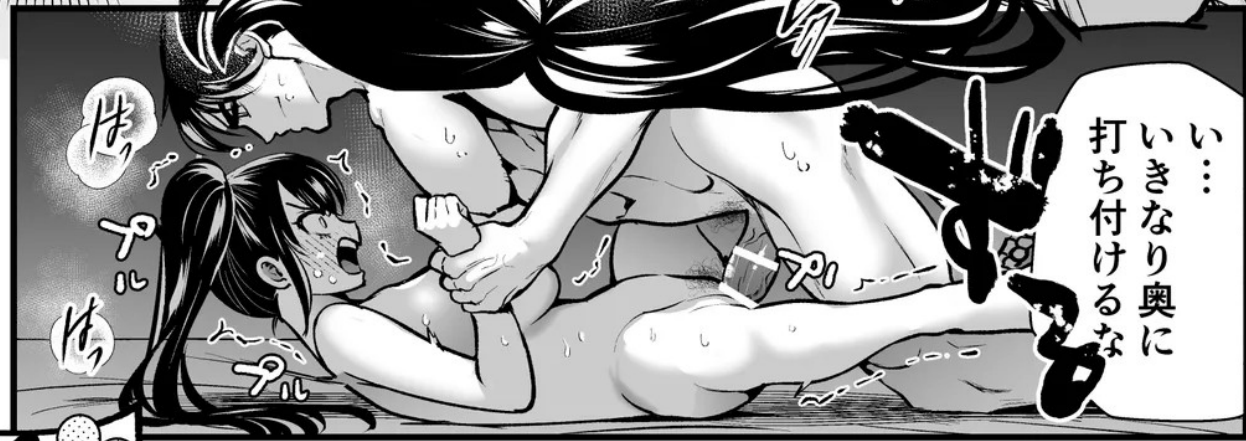
これ  
暴れるでない



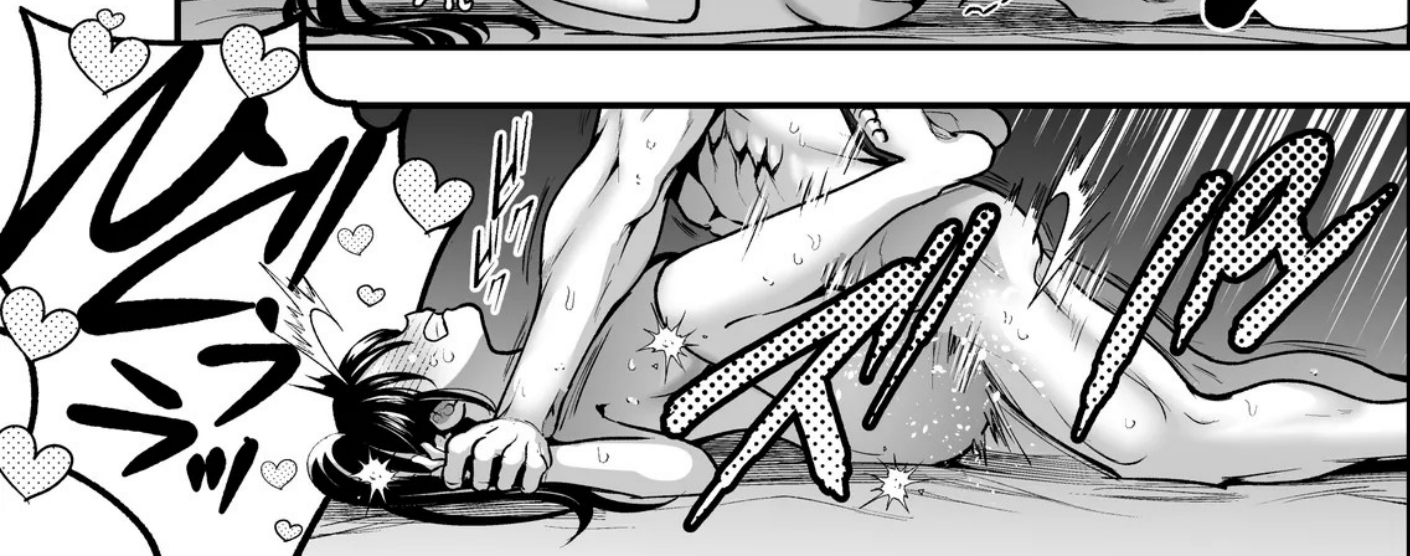


実力行使と  
させていたどころ

胎の奥が  
潰されている



い：  
いきなり奥に  
打ち付けるな







儂も  
そろそろ

えッ  
また…

茜の腔内は  
熱くて  
蕩けそうじゃ



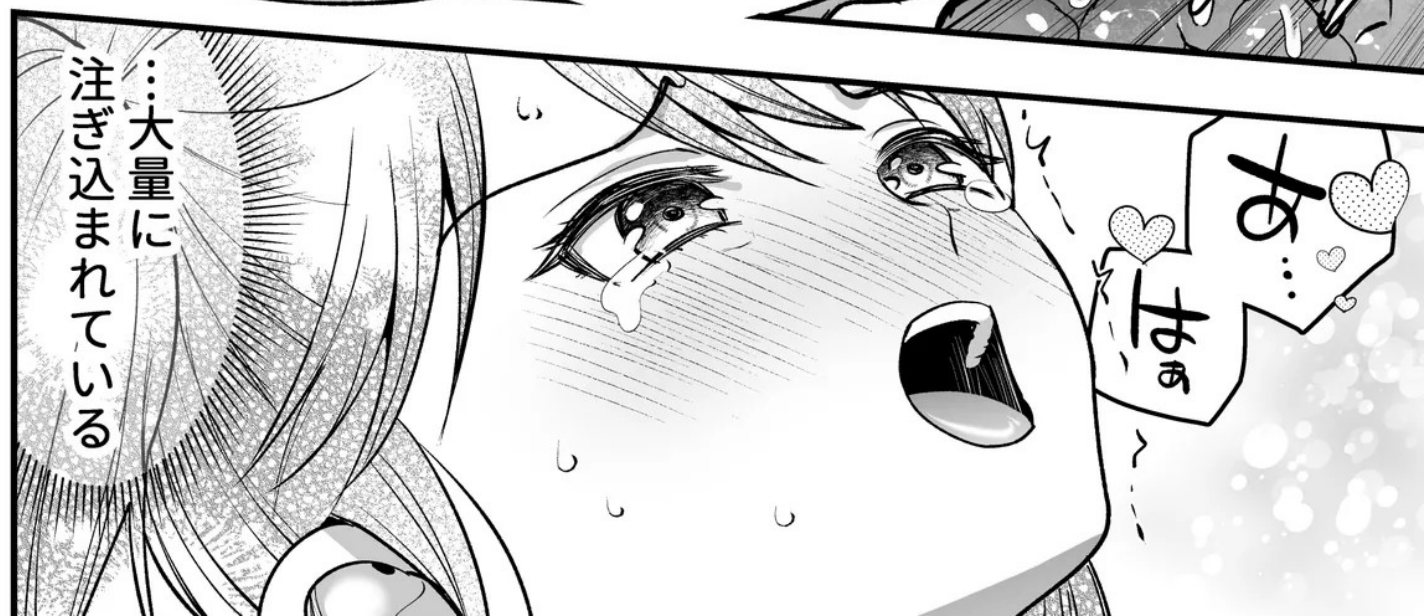
たっぷり子種を  
注いでやるから  
しっかり  
受け止めるのじゃぞ

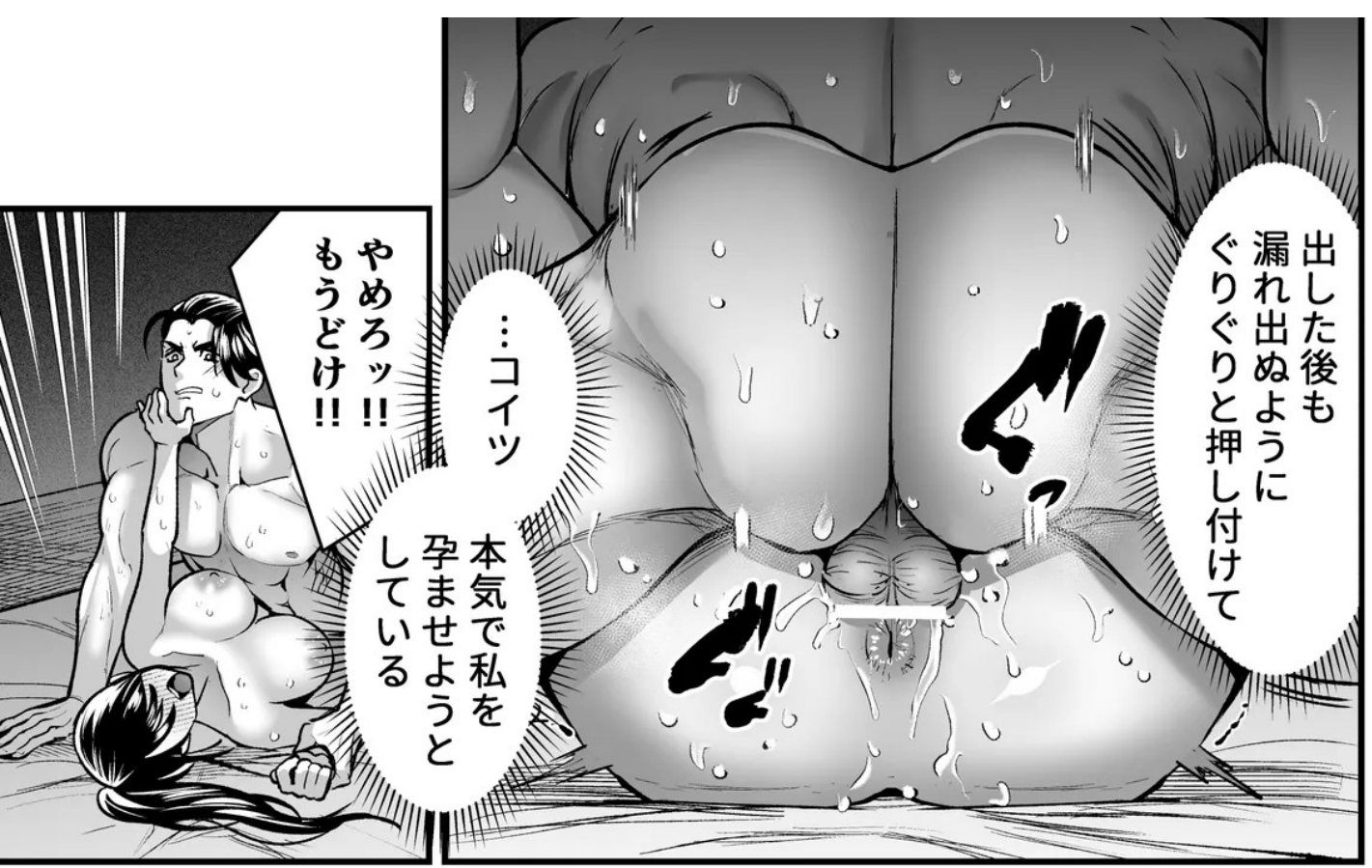
ふざけるな！  
それだけは…

やあ  
やあ  
やあ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

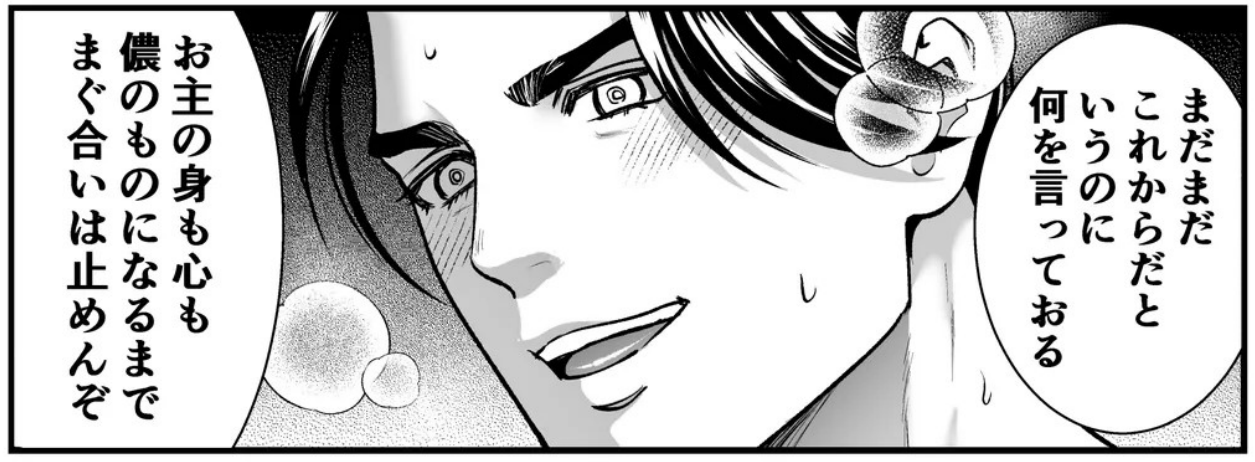




出した後も  
漏れぬように  
ぐりぐりと押し付けて

…コイツ  
本気で私を  
孕ませようと  
している

やめろッ!!  
もうどけ!!



まだまだ  
これからだと  
いうのに  
何を言っておる

お主の身も心も  
儂のものになるまで  
まぐ合いは止めんぞ



どうした  
茜

早く…早く  
逃げなければ

これ以上関わっては  
いけない



さあもつと  
愛し合おうでは  
ないか

…ダメだ  
この男



何でもう  
大きく...

止めろよ  
馬鹿ッ!!

未来の夫に  
馬鹿とはいかな



行儀の悪さ  
だけではなく  
態度の悪さも



躑して  
いかねば



今度は後ろから  
突いてほしいか?



実際叩くと  
お主の膣内は  
よう締まる



よくもまた  
叩いたな...!

この尻叩きは  
愛撫の一部じゃ



なんでこんなに  
私は感じて...!



くそっ

くそっ

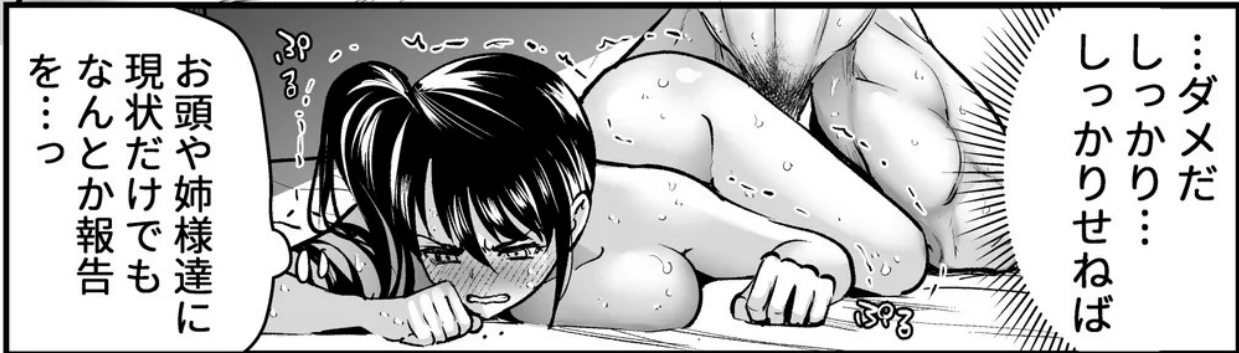


腸は煮えくり  
返っているのに





本当に  
コイツのものに  
されてしまう…



…ダメだ  
しつかり…  
しつかりせねば

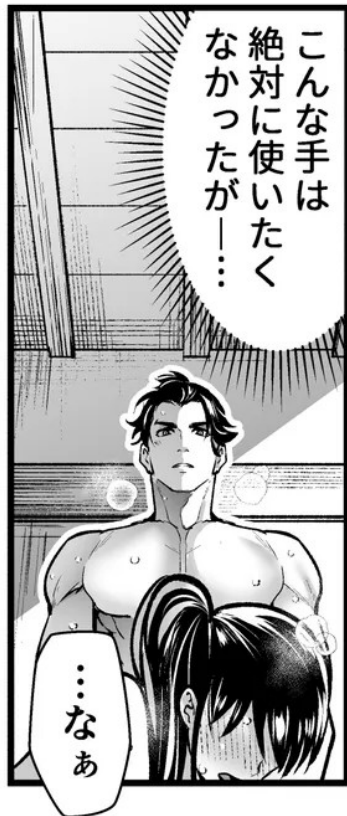
お頭や姉様達に  
現状だけでも  
なんとか報告  
を…っ



もう勘弁  
してくれ

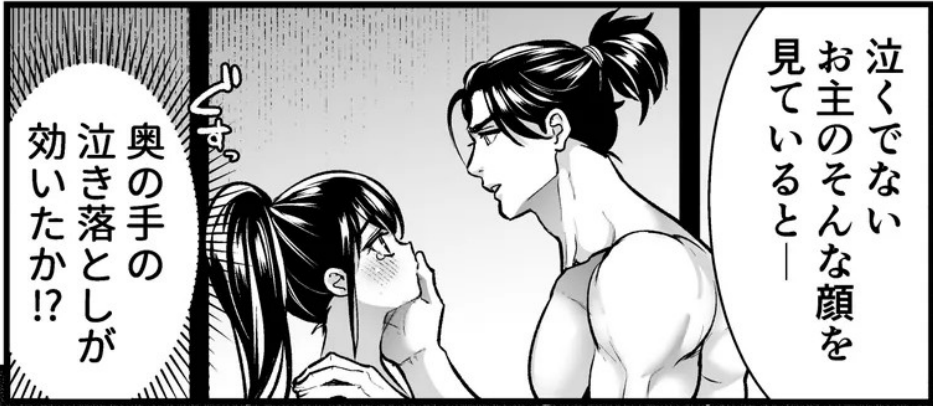
こんなに  
いたぶれば  
満足しただろう？

後生だ…私を  
見逃してくれ



こんな手は  
絶対に使いたく  
なかったが…

…なあ

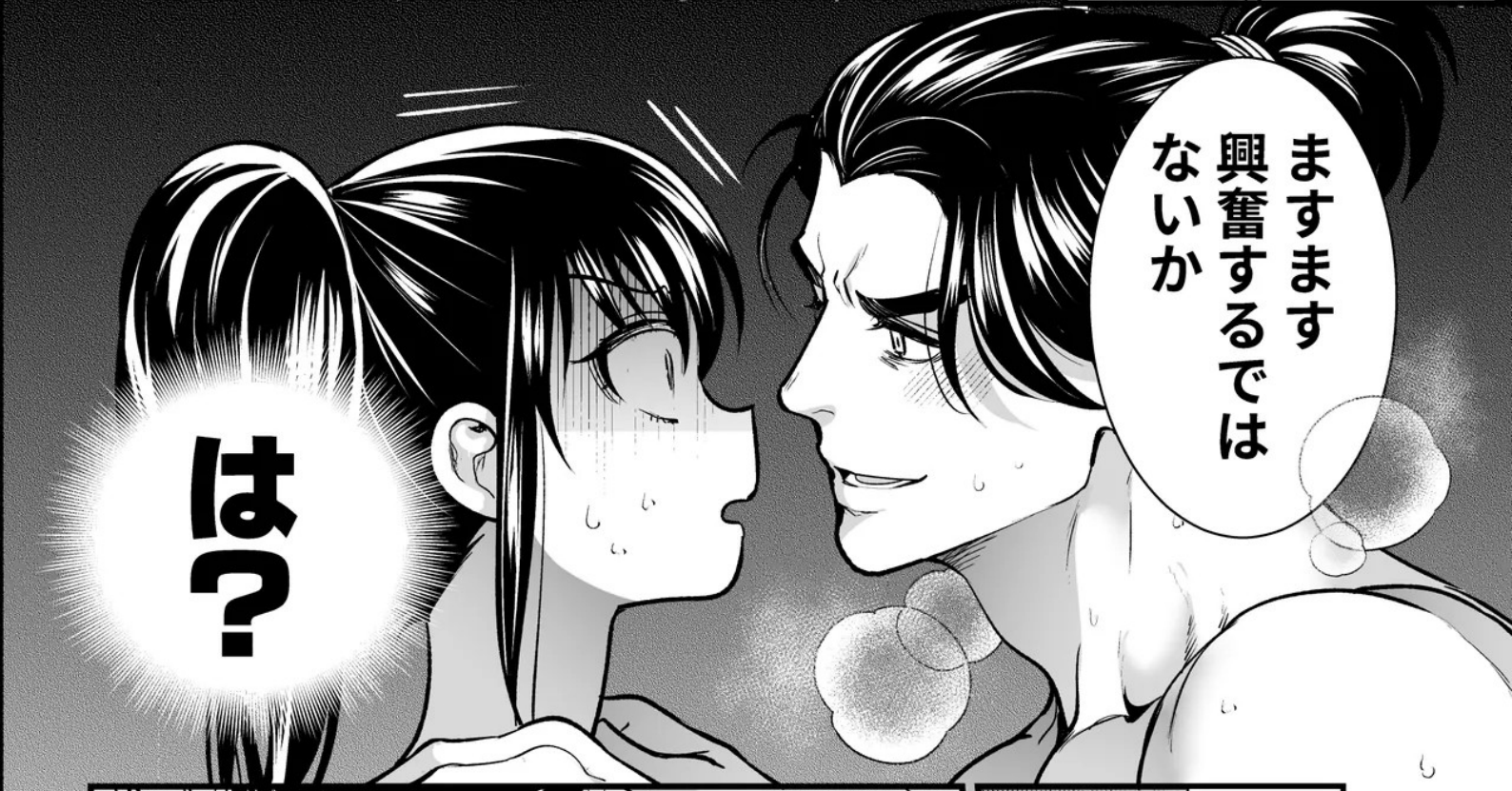


奥の手の  
泣き落としが  
効いたか!?

泣くでない  
お主のそんな顔を  
見ていると—



…茜



は？

ますます  
興奮するでは  
ないか



なっ…  
お前ふざけるな



そろそろ  
休もうと思ったが  
今一度



このままでは  
ヤリ殺される



コイツ  
頭がおかしい



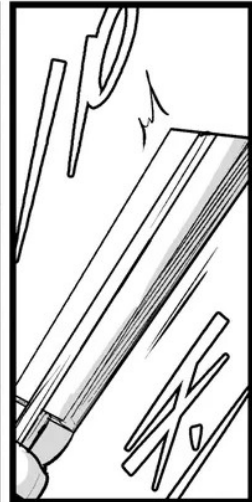
もうダメ：  
ダメだったら！！

誰か助け：  
ああ



忍びを  
放って早五日

東禅寺の若造は  
屋敷に籠って  
姿を見せないとな



つまりは毒で  
床に伏している  
ということか？

その後  
あやつの容態は  
どうなっておる！

はッ

只今  
別の忍びを向かわせ  
確認中でございます

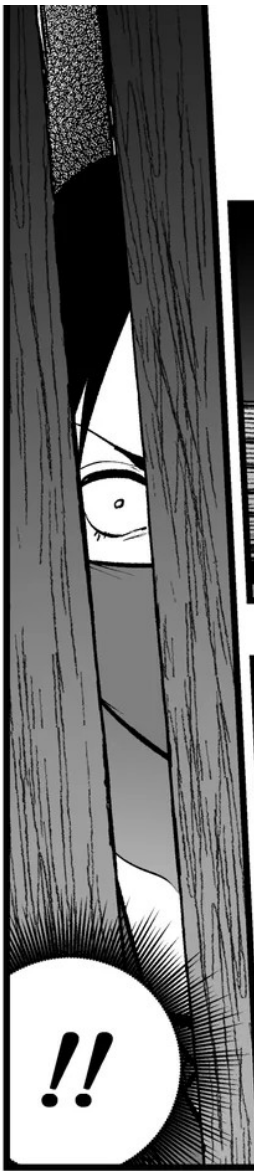


：あの子は  
うまく任務を  
果たせたのだろうか

：なんだか  
嫌な予感がする



今しばらく  
知らせを  
お待ちください



な

挿入れて欲しければ  
僕を好きと言え

ではなければ  
イかせずこのまま  
慰め続けるぞ♡

なんだ  
あれは

はあ  
はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

んあ  
あ  
ん

なんだ  
あれは

ぬち  
あ

しかしそこが  
可愛い

強情者め

言わ…  
ない…っ

まさか屋敷から  
出なかつたのは  
ずっとあの子を  
抱き続けていたから!?



しかし何故だ  
くノ一を抱いて  
何故死んでおらん

このままでは  
辛いじゃろう  
嘘でも  
いいのじゃぞ？

言ったら挿入れて  
楽にしてやるから  
…なあ？

……



それに――

お前が……

……嘘でも  
いいなら言う

好き……

こっつ  
これでいいだろ！  
だから早く……

X  
ゆっ



茜

お前はやはり最高じゃ!

あーあ  
あーあ  
あーあ

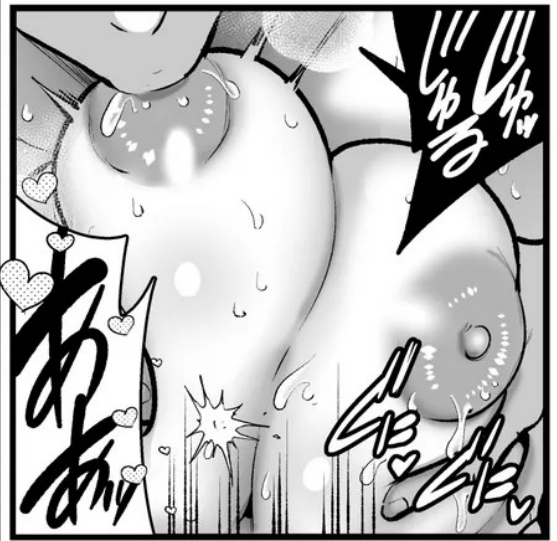


挿入れるって言ったのに...

あーあ  
あーあ



だめだ  
あれはもう



あーあ  
あーあ





国も征服  
されてしまう



茜は挿入れる度  
イってしまおう



ここを  
触ったら  
もつと

いけない  
早く戻って  
伝えなければ  
ならないのに

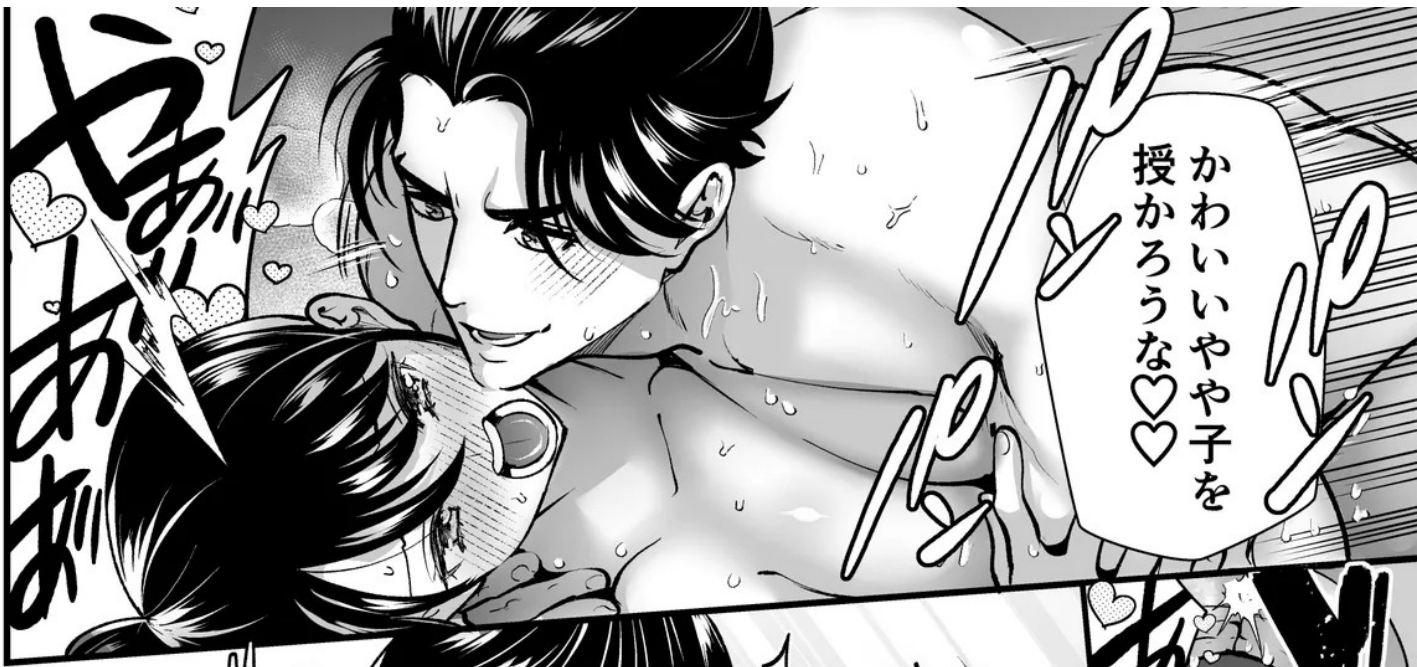
獣のような交尾に  
目が離せない

茜の膣内は  
何度入れても  
締まっているのう

とてつもない  
名器じゃ

子作りが  
捗るッ♡

はっ♡  
はっ♡



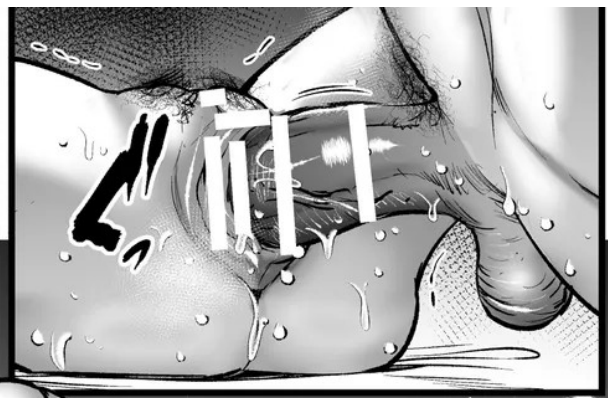
かわいいやや子を  
授かるうな♡♡



あーあー

あーあー

あーあー



おっと  
 気を失ったか  
 少々  
 やりすぎて  
 しまった



内添殿には  
 素晴らしい女子を  
 ご心配いただき  
 感謝申し上げます  
 伝えてくれぬか



…さて  
 上の間者

!?

気付かれて  
 いる!?

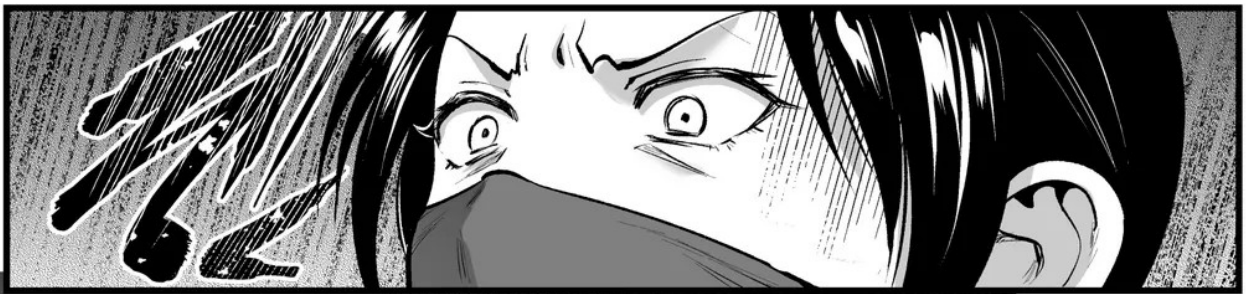


それと…



明朝より戦装束にて  
ご領地いただきに参る

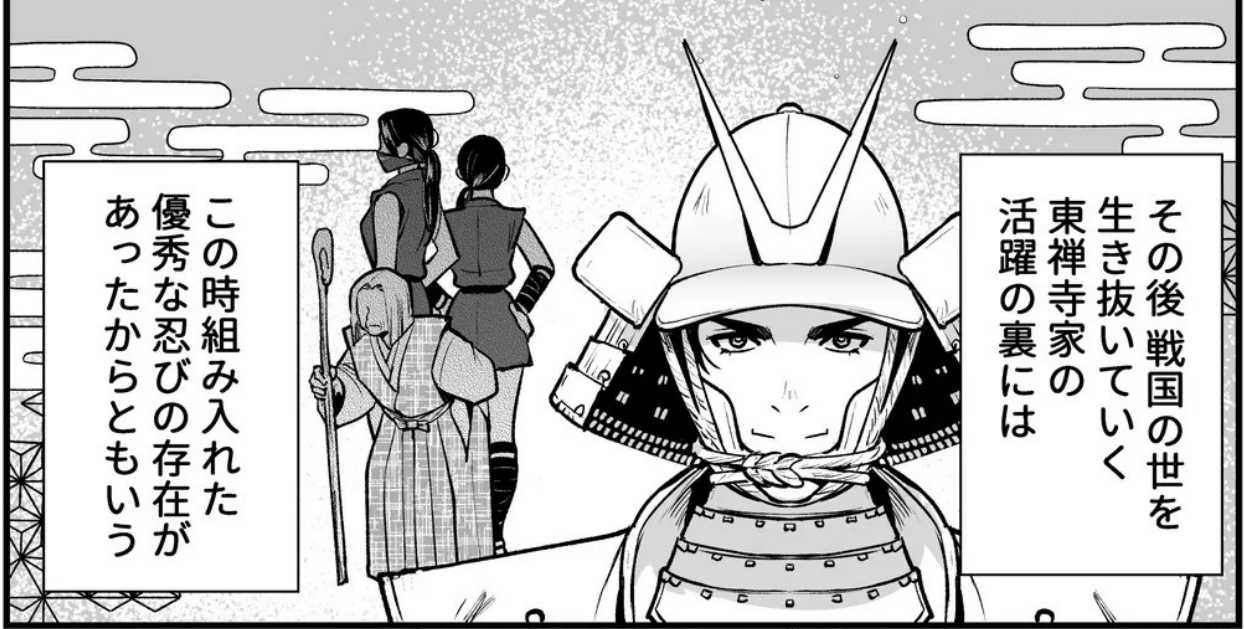
ご準備召され  
ともな



東禅寺義政は  
言質通り  
翌日内添領に攻め入り

見事勝利を  
収めることとなる





その後戦国の世を  
生き抜いていく  
東禅寺家の  
活躍の裏には

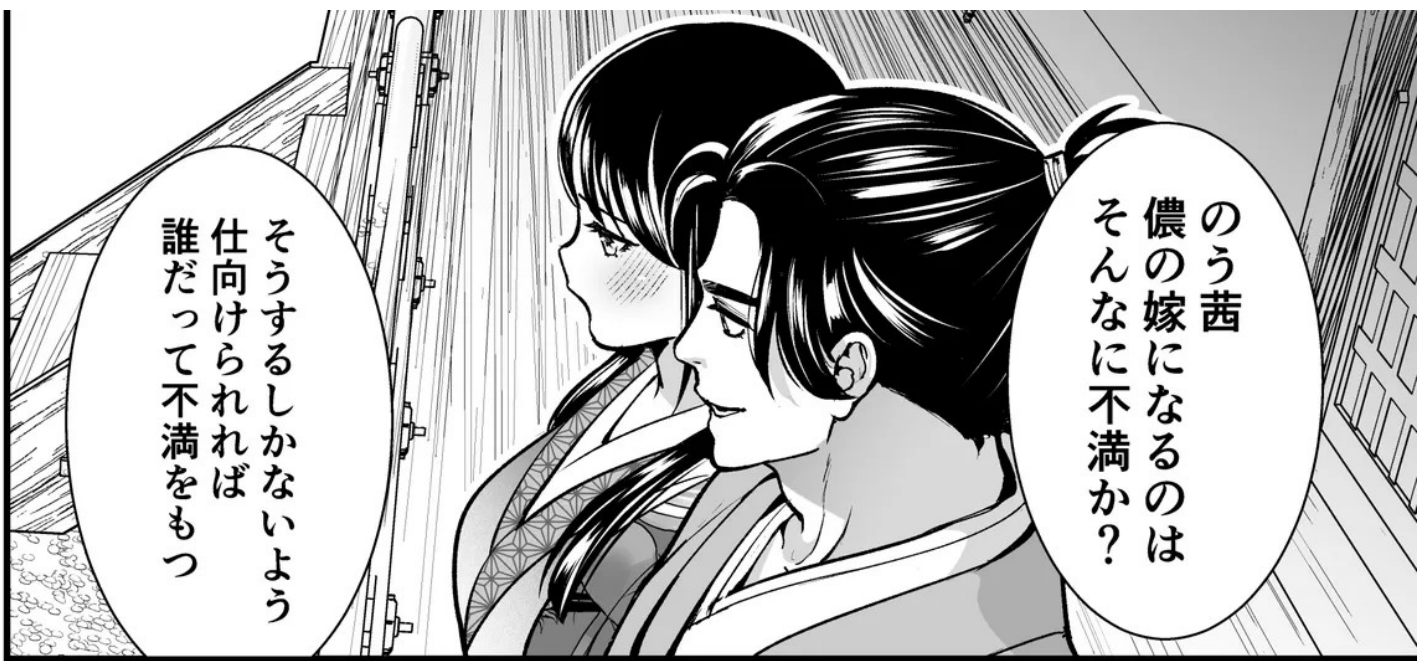
この時組み入れた  
優秀な忍びの存在が  
あったからともいう



また内添領攻略の後  
当主義政の祝言が  
執り行われたのだが

奥方となる姫君の  
出自は不明

物憂げながらも  
強く放つ美しさのため  
茜の方と呼ばれた



のう茜  
僕の嫁になるのは  
そんなに不満か？

そうするしかないよう  
仕向けられれば  
誰だって不満をもつ



……でも

幸せにしてくれるなら  
そんな不満もいずれ  
解消されるでしょう



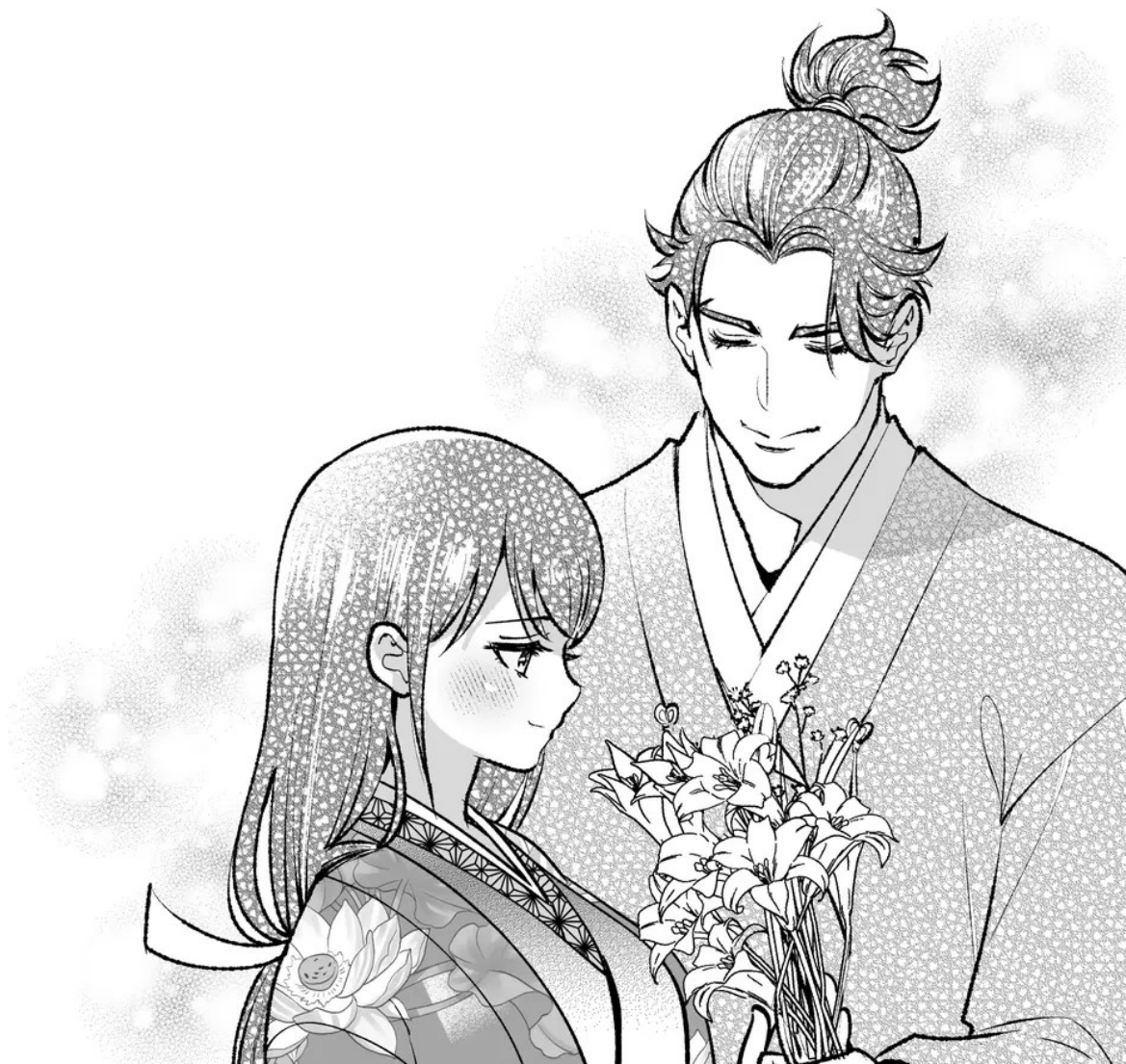
もちろん  
幸せにするぞ!!

あ  
い  
ゅ  
っ

義政は  
生涯側室は持たず  
愛妻家と知られた

二人の間には  
二男二女が生まれ  
激動の世の中でも  
互いを支え合い  
幸せに暮らしたそうなの

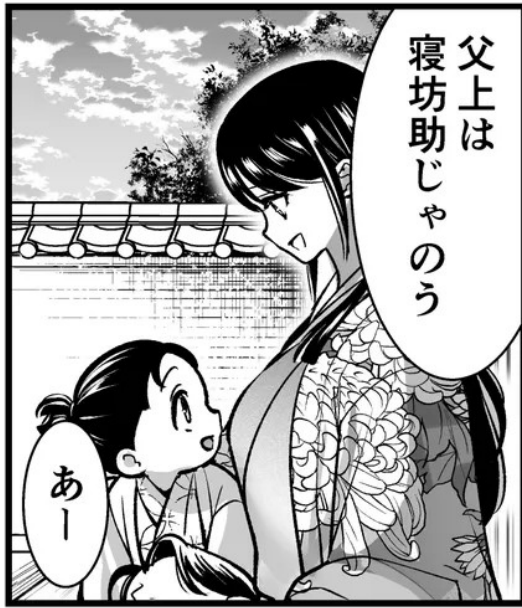
終





殿  
殿

義政  
嫁取りから  
二年――

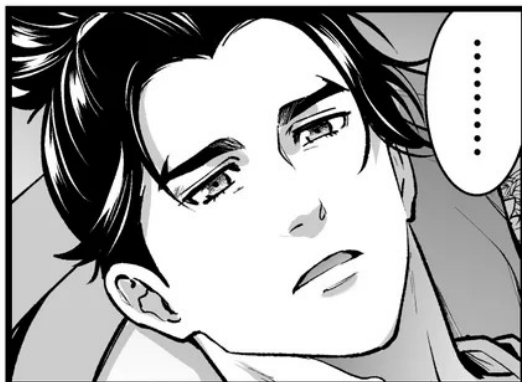


父上は  
寝坊助じゃのう

あー



もう日が  
暮れますよ  
起きて  
ください



.....



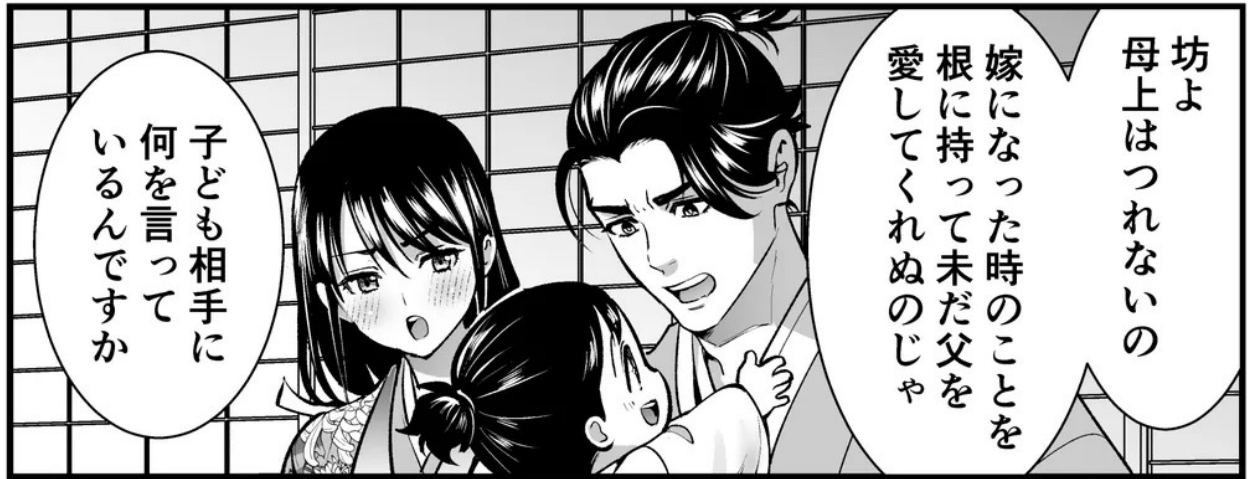
おはよう

茜  
僕は幸せじゃ

お主が  
好きじゃぞ！

なっ何を  
いきなり！

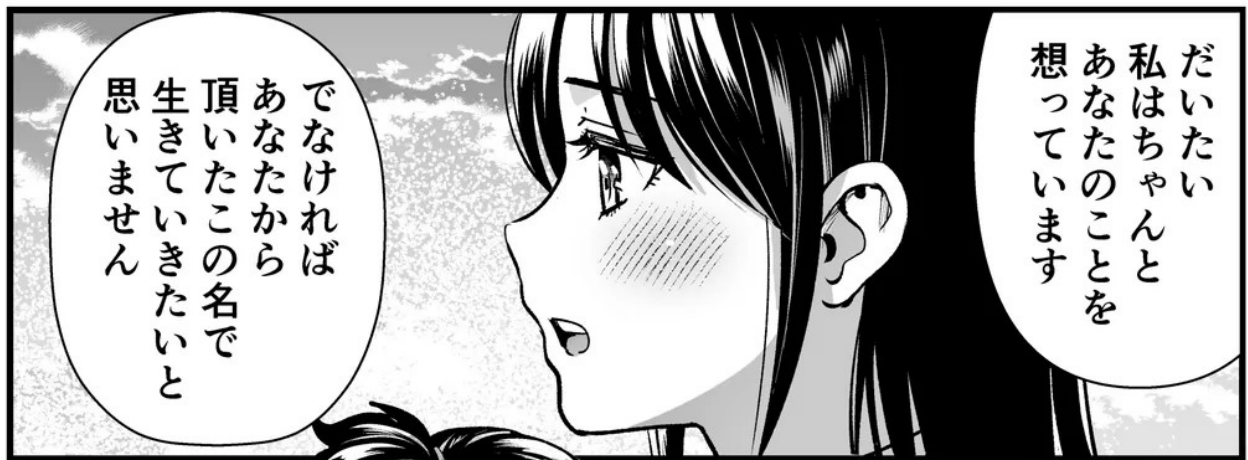
きゅん



坊よ  
母上はつれないの

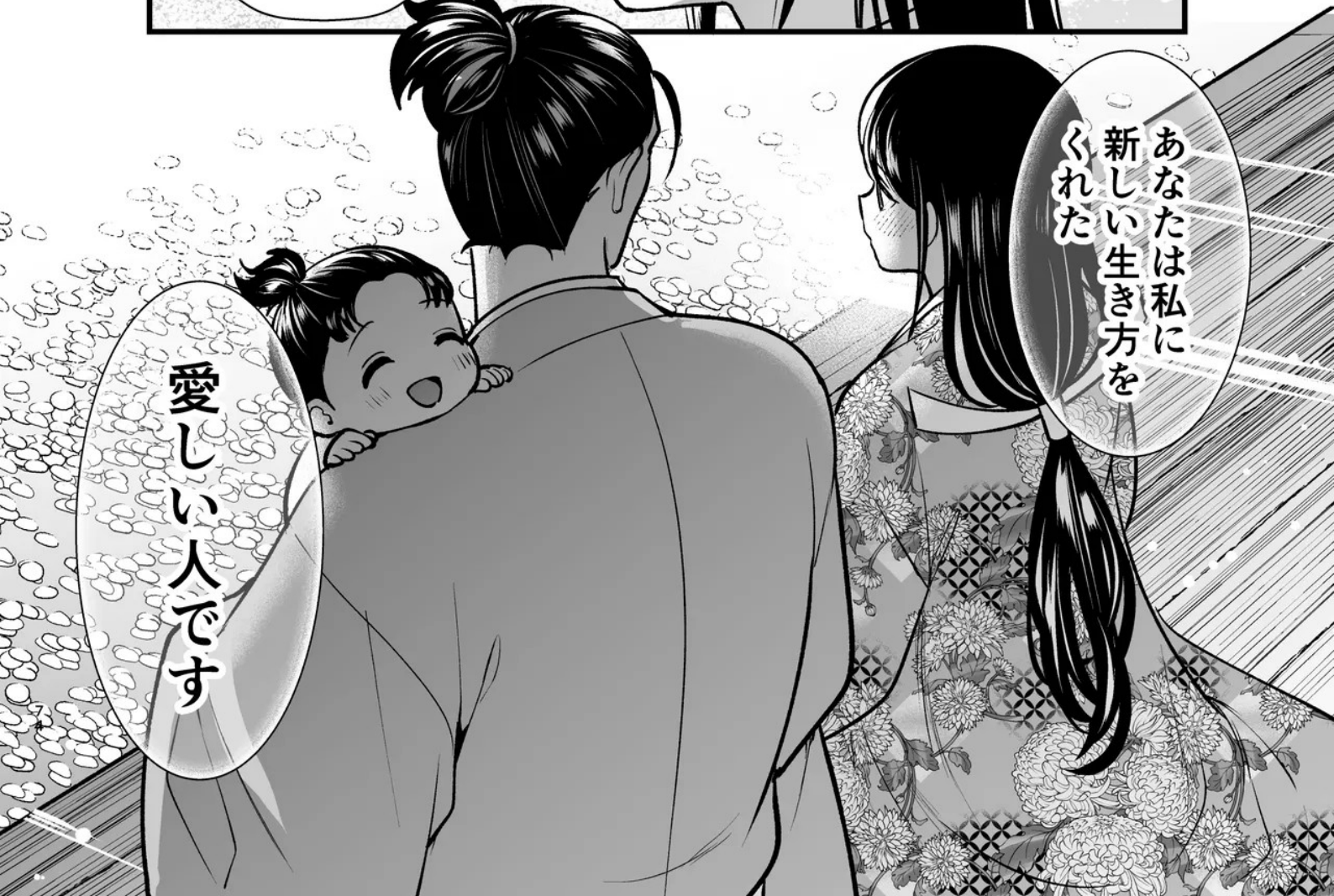
嫁になった時のことを  
根に持って未だ父を  
愛してくれぬのじゃ

子ども相手に  
何を言ってる  
いるんですか



だいたい  
私はちゃんと  
あなたのことを  
想っています

でなければ  
あなたから  
頂いたこの名で  
生きていきたいと  
思いません



あなたは私に  
新しい生き方を  
くれた

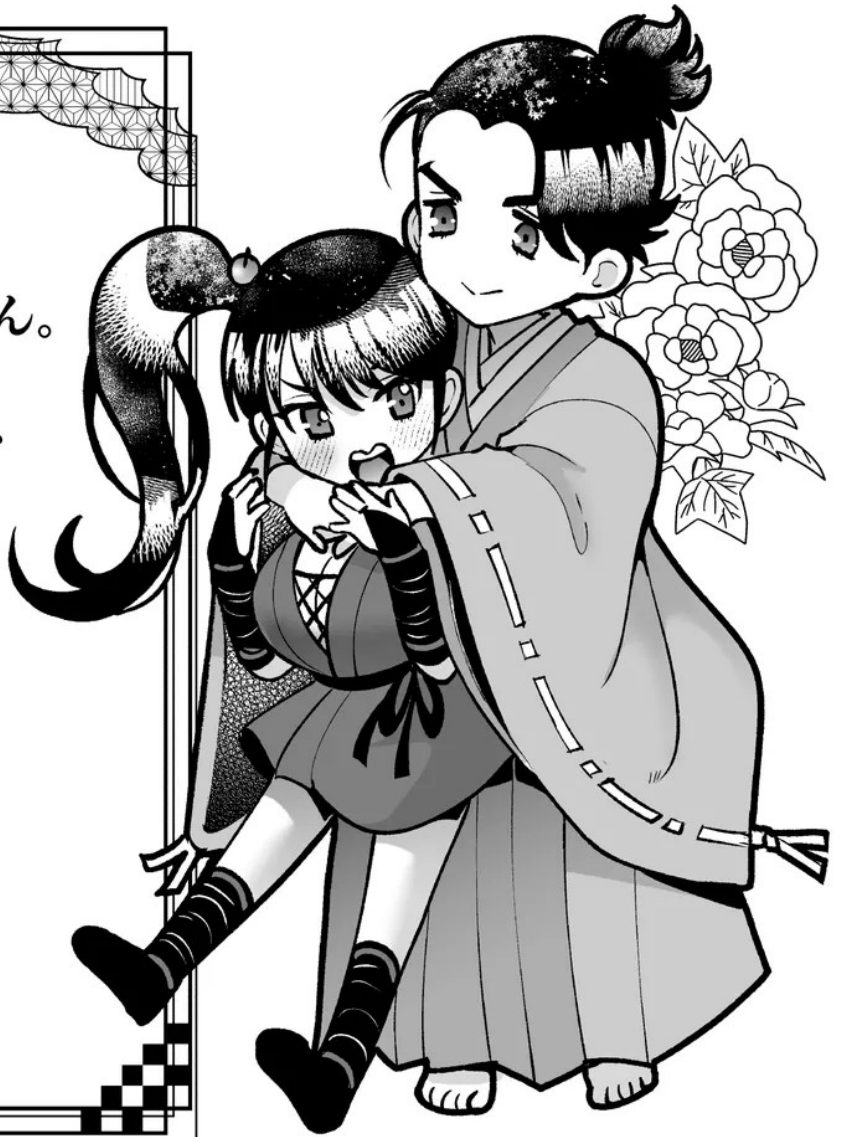
愛しい人です



◆登場人物は  
架空の人物です。  
歴史上に存在しません。

◆ご感想頂けますと、  
励みになりますので  
レビューして  
いただけると  
嬉しいです！

◆他にも色々作品を  
描いておりますので  
そちらもよろしく  
お願いいたします！



# 殿様、寝屋の騷

～暗殺失敗、奥方にされたくノ～

活動サイト

<https://tamaki70.fanbox.cc/>



2025年8月1日発行

発行

Jewelry box

発行者

玉姫なお

<https://twitter.com/70tamaki>

<https://www.pixiv.net/users/7764805>

**転載禁止**

**DO NOT REPOST**

無断転載・複製・複写  
Web上へのアップロード禁止

◆本作品の内容の一部あるいは全部を無断で転載・複製・複写  
インターネットへのアップロードすることを禁止しています。

お読みいただき  
ありがとうございます  
ごさいます!  
アキラお



Jewelrybox



玉姫なお

◆「殿様、寝屋の躰」を読んだ方におススメ◆



◆その他現代物・ファンタジー等々◆



その他作品もございますので、よろしくお願いたします。